

平成17年度実施状況一覧表

第3章 教育・分野・スポーツの分野									
第1節 「潤い」のある教育の推進									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
少人数指導の充実	教育委員会 教職員課		基礎・基本の徹底と子どもたちの個性や能力を伸ばし豊かな心を育むため、教員免許を有する少人数指導サポートプラン臨時教員を小中学校に配置します。	臨時教員数 30名 (小学校20、中学校10)	135名	30校に少人数指導サポート臨時教員を配置したことにより、児童・生徒一人ひとりの理解や習熟度に応じた授業を行い、基礎学力の向上ときめ細やかな指導の充実に図りました。		市立小・中・養護学校に配置されている少人数指導サポート臨時教員を増員していきます。	
環境教育・学習の推進 (再掲1章1節)	環境経済局 環境総務課	教育委員会 指導1課	環境への意識を高めるため、リサイクル活動や学校緑化コンクールへの参加、学校ピオトープの管理・活用などを充実します。また、環境教育・学習を推進していくための総合的方針・計画を策定し、個人が自発的に環境保全に取り組む活動を支援します。	リサイクル活動実施校62% 環境美化活動実施校63% 総合的方針・計画の検討	90% 90% 策定 (19年度) 推進	リサイクル活動は116校、環境美化活動は105校で実施し、学校環境緑化コンクールへは31校が参加、学校ピオトープについては、市立13小・中学校で活用中です。 リサイクル活動実施校74.4% 環境美化活動実施校67.3% 学校における環境教育基本計画を作成し、市立幼・小・中・高・養護学校に配布し活用を推進しました。また、小学校中学年用環境教育指導資料を改訂しました。 「省エネルギー・省資源」をテーマに、市立の中学2年から標語作品を、小学5年からポスター作品を募集し、コンクールを行いました。優秀作品については、入賞作品集やカレンダーの作成などにより環境保全への啓発に活用しました。			
特色のある学校づくり推進事業	教育委員会 指導1課		授業や地域の方々との憩いの場に活用できる自然園づくり、地域にある貴重な植物の保存活動、中学生が算数教師として小学校5・6年の算数の学習をサポートするなど、市立幼小中養護高等学校の創造的な「特色のある学校づくり」の取組を推進するため、毎年10校程度の推進指定校を定め、各学校を支援します。	指定校応募学校数 139校	164校 (19年度)	「基礎学力(漢字力・計算力)を高める尾間木プラン」(尾間木小)の実施や、子どもたちの感動のこぼれを集めた「南小、心を潤す感動のこぼれ集」(南浦和小)の発行など、地域の人材や環境を生かし、児童生徒の活動を充実・発展させる取り組みを、平成15年度よりの継続校が17校、新規の指定校が7校の24校で行いました。 指定校応募学校数162校			

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。).

は、順調に進捗。 は、進捗が遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第3章 教育・分野・スポーツの分野									
第1節 「潤い」のある教育の推進									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
小・中一貫「潤い」の時間」の展開	教育委員会 指導1課	教育委員会 指導2課	国際社会をたくましく豊かに生きる児童生徒の育成を目指すため、潤いの時間を教育課程に新設し、小学校から中学校まで小・中一貫の系統的・継続的なカリキュラムのもと、人間関係プログラム並びに英会話を実施することにより、コミュニケーション能力をはじめとする人間関係の構築に必要な技術を学びます。	実施準備	英会話実施校数 158校  人間関係プログラム見直し	「人間関係プログラム」推進委員会を設置し、児童生徒に予備アンケートを実施し、分析することにより、平成18年度より実施の効果測定尺度を作成しました。また、「人間関係プログラム」に係る研修会を市立全小中学校の代表教員対象に実施し、各学校において伝達研修を行いました。 「英会話」カリキュラム開発委員会において本市独自の小中5年間を見通したカリキュラムを作成し、研究指定校7校で先行実施しました。		9 国際社会をたくましく豊かに生きる児童生徒を育成します。  9 話し上手、聞き上手になるために必要なスキル等を学ぶ「人間関係プログラム」を実施します。	
生徒指導総合計画子ども潤いプランの推進	教育委員会 指導2課		次代を担う子どもたちの健全育成を図るため、体験活動の場や機会の充実、家庭・地域社会の教育力の充実、心のサポート体制の確立、魅力ある学校づくりの推進の基本施策に基づいたアクションプログラムを展開します。	推進	アクションプログラムの見直し (19年度)  推進	アクションプログラム推進事業の一部見直しを行い、それをまとめた生徒指導総合計画「子ども潤いプラン」の冊子を作成しました。「子ども潤いプラン」推進委員会を実施し、プランの充実に向けて協議を行い、重点推進事業については、実施に係る評価報告書を作成しました。 啓発活動として、小・中学校新1年生全保護者にリーフレットの配布、各学校に掲示用「心を潤す4つの言葉」ポスターの配布を行いました。		66 中学生が、地域の中で職場体験活動や福祉体験活動等の体験活動を行います。	
国際理解教育・交流事業(再掲 7章1節)	教育委員会 指導1課		市立中学校の生徒や本市在住の高校生などを海外に派遣する国際交流活動、外国語指導助手や地域在住外国人ボランティアによる国際理解教育を充実します。	外国語指導助手 雇用人数 32名  外国人ボランティア登録者人数 32名	32名  50名	名各市立中学校より1名、計56名の生徒を10日間、ニュージーランド・ハミルトン市に、また市内在住高校2年生10名を米国・ピッツバーグ市に15日間派遣しました。外国人ボランティア32名を市内小学校に延べ300回派遣しました。さらに外国語指導助手32名を市内小・中・高等学校に派遣し、国際理解教育・交流事業の推進を図りました。		-	
情報教育の充実(再掲4章4節)	教育委員会 教育研究所		普通教室等の授業用コンピュータの整備を進め、これらを授業に活用するとともに、情報モラルの適切な取り扱いを指導することにより、児童生徒の情報活用能力の向上を図るなど情報社会に参画する態度を育成します。	小学校コンピュータ室にコンピュータ40台を整備した校数 41 / 100校 普通教室にLANを敷設している学校 0校	101校 / 101校 (19年度1校新設)  158校 / 158校	32の小学校でコンピュータ室にコンピュータを40台整備し、合計で73校となりました。平成18年度から導入研究がスタートできるように、パイロット研究校4校を指定し、LANを利用した事業導入の研究に向けた準備を進めました。		52 各小学校の普通教室にコンピュータを整備して、インターネット等を利用した授業ができるようにし、児童生徒の情報活用能力の向上を図っていきます。	

「進捗状況」欄について  
計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。  
は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、  
は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画  
～マニフェスト工程表～の内容です。

第3章 教育・分野・スポーツの分野								
第1節 「潤い」のある教育の推進								
事業の名称	担当課	事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
特別支援教育事業の推進(再掲2章4節)	教育委員会指導2課	障害のある児童生徒一人ひとりに応じた適切な教育的支援を受けられるよう、市立養護学校に相談センターを整備するなど特別支援教育体制構築に向けた取り組みを進めます。	特殊学級設置校数 35校 通級指導教室設置校 6校	43校 10校 推進	障害のある児童生徒一人ひとりに応じた適切な教育的支援が行えるよう策定委員会を設置し、軽度発達支援や就学の市の方向性を検討しました。また、平成18年度中の開設を目指し、市立養護学校内相談センターの準備を行いました。		11 軽度発達障害を含む、障害のある児童生徒とその保護者を支援するため、専門的な相談室を養護学校に設置します。	
教育相談・相談室運営事業	教育委員会指導2課	教育に関する様々な相談体制の充実のため、教育相談室や適応指導教室を運営するとともに、すべての中学校に設置したスクールカウンセラーやさわやか相談員によるカウンセリング等、児童生徒の心の悩みや不安の解消に努めます。	推進	充実	全中学校56校にさわやか相談員及びスクールカウンセラーを配置して、児童生徒や保護者、教職員のカウンセリング等相談活動を実施しました。また、市内に3ヶ所「適応指導教室」を設置し、不登校の児童生徒の学校復帰を目指した適応指導を体験活動、学習支援、人間関係作り等を通して取り組みました。		-	
過大規模校解消事業	教育委員会教育総務課	小学校の新設などにより、過大規模校の解消を図ります。	事業中	推進	過大規模校解消に向けて、辻南小学校の用地取得を行い、建設工事に着手いたしました。また、(仮称)日進・宮原地区小学校における基本計画を策定いたしました。		-	
小中学校整備事業 [施設改修等の推進]	教育委員会学校施設課	良好な学習環境を確保するため、老朽化した校舎の改修や改築などを行うとともに、校庭の芝生化や武道場未設置の中学校で武道場整備を進めます。	事業中	推進	施設改修等については、増築1校、トイレ改修6校、屋上防水12校、校舎外壁塗装7校、体育館改修7校などを行いました。また、小学校に対し、校庭芝生化等に関する意向調査を行いました。		64 小学校の校庭の芝生化を進めます。	
小中学校整備事業 [耐震補強事業]	教育委員会学校施設課	新耐震設計法(昭和56年)以前の基準により建築された校舎等の耐震性を向上させるため、耐震診断を行い必要に応じ校舎・体育館の耐震補強工事を実施します。	事業中	推進	耐震2次診断を22棟、補強設計を8棟、補強工事を16棟行い、平成17年度末時点での工事完了棟は73棟となりました。		52 新耐震設計法(昭和56年)以前の基準により建築された校舎の耐震補強を実施します。	
小中学校整備事業 [空調設備設置事業]	教育委員会学校施設課	図書室・音楽室に加え、普通教室への空調機設備を整備します。	事業中	推進	新たに特別教室11室に空調機を設置し、年度末現在で114室に整備が完了しました。		64 小・中学校の普通教室に空調設備の整備を推進します。	

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、

は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第3章 教育・分野・スポーツの分野									
第1節 「潤い」のある教育の推進									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
学校図書館の充実	教育委員会 教職員課	教育委員会 教育研究所	市立の小中学校全てに、司書を配置するとともに、図書館コンピュータを設置し、蔵書情報のデータベース化・ネットワーク化により、蔵書などの共同利用化を進め、児童生徒の意欲的な学習活動や読書活動を推進します。	図書館司書 141人 図書館コンピュータ 91校	158人(全小中学校) 158校(全小中学校)	141校の学校図書館に司書を配置したことにより、児童生徒の読書活動を向上させるとともに、学校図書館の活性化を推進しました。また、新たに16校に学校図書館コンピュータを整備しました。また、既導入校のうち8校について機器の入替を行いました。導入済校は合計で107校となりました。		53 市立小・中学校の学校図書館に図書館用コンピュータを整備します。  53 市立小・中学校に学校図書館司書を配置します。	
学校給食施設の整備	教育委員会 学校施設課		各学校(地域)の特色を生かした給食の実施及びきめ細やかな食の指導の充実を図り、児童生徒に、より安全でおいしい給食を提供するため、給食センターから給食の提供を受けているすべての小中学校に単独校調理場を設置します。	単独校調理場 整備済の学校 124校	136/158校	中学校4校に単独校調理場を整備し、小学校2校の設計を実施しました。 単独校調理場整備済の学校 128校		-	
市立高等学校の整備	教育委員会 学校施設課		老朽化した学校施設の耐震補強工事や改築を計画的に進めます。	事業中	推進	耐震補強設計の前提となる2次診断に向けた優先度調査を実施しました。		-	
中高一貫教育の推進	教育委員会 中高一貫教育校開設準備室	教育委員会 学校施設課	市立浦和高校における併設型中高一貫教育校開設に向けて、具体的な建設計画の立案、教育方針・教育目標などの策定を行います。	事業中	併設型中学校 開校 (19年度)	平成19年4月の開校に向けて、さいたま市立中高一貫教育校開設準備会議を組織し、6年間を見通した教育課程や入学者選抜方法等を検討し基本方針を定めました。 また、平成17年8月に既存校舎を解体し、平成17年10月から新校舎建設に着手しました。		50 市立浦和高等学校内に市立浦和中学校を新設し、両校による併設型の中高一貫教育を実施します。	
さいたま教育コラボレーション構想の推進	教育委員会 指導1課		埼玉大学と連携し、学生による児童生徒への学習支援などの教育ボランティア活動や教員の大学講座への参加、学生へのキャリア教育などを実施し、教職員の資質向上と学校教育の充実を図ります。	推進	推進	さいたま教育コラボレーション推進委員会において、教員養成専門部会と教員研修専門部会を設置しました。埼玉大学学生による学習支援ボランティア(アシスタントティチャー)を、小・中・養護学校54校に配置し、延べ772回実施しました。10年経験者研修においては、埼玉大学の14講座が公開され延べ30名の小中学校の教員が受講しました。		-	

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、

は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第3章 教育・分野・スポーツの分野									
第1節 「潤い」のある教育の推進									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度末 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
地域講師派遣事業	教育委員会 指導1課		市内小・中学校の各教科や総合的な学習の時間などに、地域の人材を講師として派遣します。	派遣人数 757人	790人	市内の小中学校の各教科や総合的な学習の時間などに、小学校451人、中学校212人の地域講師を派遣しました。小学校では、米作り、生け花、英語活動等、中学校では、琴の演奏や手話体験等をご指導いただき、大きな成果をあげることができました。		-	計画目標の現況(H17年度当初)欄の数値は、17年度実績の見込みの数値です。平成16年度末の実績は、498人でした。
地域に開かれた学校運営の推進	教育委員会 指導1課 指導2課	教育委員会 教育総務課	家庭・地域の声を生かし、地域の学校としての運営を行うため、市立小・中・高等・養護学校全てにおいて、学校評議員制度を導入するなど、市民の視点での教育改革を進めます。	学校評議員設置 校 159校	163校 (全小中高養護 学校)  推進	市立小・中学校156校、高校2校、養護学校1校に学校評議員が置かれ、「学校評議員の設置及び運営に関する要綱」に基づいて事業が取り組まれています。また、中央教育審議会等で、教育委員会制度の見直しの動きがあるため、その動向の把握と研究を行いました。また、他先進都市における教育改革状況の把握や文部科学省主催のコミュニティスクールのフォーラム等への出席により、教育改革の調査・研究を行いました。		65  市民、学校、教育委員会が連携・協力を進め、保護者や地域住民が学校づくりに参加する教育改革を実行します。	
学びの向上さいたまプランの策定・推進	教育委員会 指導1課		基礎学力に加え、学ぶ意欲や自ら学び考える力の向上のために、学びの向上さいたまプランを策定し、基礎学力定着プログラム、国語力向上プランなどを推進します。また、児童生徒の得意分野を育成するために、(仮)全ての子供に得意分野づくりプログラムを策定し推進していきます。	構想・検討	学びの向上さい たまプラン、基 礎学力定着プロ グラム、国語力 向上プランの策 定(17年度)  (仮)全ての子供 に得意分野づく りプログラムの 策定(18年度)  推進	学びの向上さいたまプラン検討会議での審議を経て、学びの向上さいたまプランを策定しました。また、プランを構成する事業のうち、主要事業である、基礎学力定着プログラム、さいたま市国語力向上プラン、アシスタントティーチャーの募集・派遣などの大学連携による事業を開始しました。全ての子供に得意分野づくりプログラムの具体化のため、プラン策定準備委員会開催に向けた諸準備を行うとともに、庁内会議において取組の具体的な方向性を検討しました。		10  51  67 知育の総合的な振興策「(仮称)学びの向上さいたまプラン」を策定します。  「(仮称)学びの向上さいたまプラン」を構成する各種施策を円滑に実施します。  学校での教育活動を通して、児童生徒に得意分野を形成します。	

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、

は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画  
~マニフェスト工程表~の内容です。

第3章 教育・分野・スポーツの分野									
第2節 生涯学習の振興									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
図書館整備事業	教育委員会 北浦和図書館	教育委員会 大宮図書館	市民の主体的な学習の場として需要の高い図書館を充実するため、(仮)中央図書館(浦和駅東口市街地再開発ビル内)や地区図書館(片柳図書館、北図書館)を整備します。	事業中	片柳図書館開設 (18年度) (仮)中央図書館、北図書館開設 (20年度)	片柳図書館の開設(平成18年5月1日)準備のため、備品・資料等の整備を行いました。 (仮)中央図書館は基本計画の策定に向けて調査、研究、素案の作成を行いました。 北図書館はプラザノース整備事業の中で整備を行っています。		-	
市民大学の充実	教育委員会 生涯学習振興課		市民の高度で専門的な学習意欲に対応するため、市民大学の講座内容を充実し、魅力的なカリキュラムづくりを進めるとともに、各生涯学習施設と連携し多様な学習機会の場を提供します。	受講者 372人/年	500人/年	教養・専門・文学・歴史・宇宙の5分野の講座を開設し、20代から80代までの受講者368人の市民の方々に多様な学習機会の場を提供しました。		-	
(仮)鈴谷地区公民館建設事業	教育委員会 生涯学習総合センター		地域住民の生涯学習とコミュニティの活動拠点となる公民館を鈴谷地区に整備します。	検討	開設 (19年度)	平成19年度の開館に向け、平成18年1月に建設工事に着工しました。		107 地域住民の生涯学習とコミュニティの活動拠点となる公民館を鈴谷地区に整備します。	
青少年の健全育成事業(再掲6章2節)	市民局 青少年課		青少年の健全育成のため、青少年が主体的に参加できる成人式や青少年の主張大会の開催、青少年育成さいたま市民会議が行う地域巡回活動や非行防止キャンペーンへの支援、青少年健全育成を目的とした市民活動への支援などを行います。	推進	推進	新成人の意見を取り入れ新成人主体の成人式を開催し、9,661名が参加しました。また、青少年さいたま市民会議及び青少年健全育成を目的とした市民活動への補助・支援等を行いました。		-	

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、

は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

平成 17 年度 実施状況 一覧表

第3章 教育・分野・スポーツの分野								
第3節 生涯スポーツの振興								
事業の名称	担当課	事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
秋葉の森総合公園整備事業(再掲4章3節)	都市局 公園みどり課	緑に囲まれた豊かな自然環境の中で、快適にスポーツを楽しむ多目的スポーツ広場を整備します。	事業中	ピクニック広場整備 (17・18年度) 散策路整備 (19・20年度)  事業中	自然保護ゾーン5haにおいて樹木管理と約2,000㎡の施設整備をおこないました。また、遊具広場整備として大型複合遊具等の設置を行いました。		-	
校庭開放夜間照明整備事業	教育委員会 体育課	市民の身近なスポーツ・レクリエーション活動の場として、市内小中学校の夜間開放を行うため、照明設備未設置の学校での整備を計画的に進めます。	設置済 18校	22校	平成17年度中は、設置校はありませんでした。なお、平成18年度の中学校1校の設置に向け、学校の意向確認や近隣自治会の合意形成を図りました。		-	
障害者のスポーツ参加の推進(再掲2章4節)	保健福祉局 障害福祉課	障害者のスポーツ活動の促進のため、全国障害者スポーツ大会等に参加するとともに、障害者スポーツ教室の開催、障害者の交流の場であるふれあいスポーツ大会についても充実を図ります。	初級障害者スポーツ指導員養成0名  推進	120名  推進	障害者のスポーツ活動の促進のため、初級障害者スポーツ指導員24名を養成しました。		-	
国際スポーツイベントの開催支援・招致(再掲7章1節)	政策局 スポーツ企画課	埼玉県を主体として開催される「2006年FIBAバスケットボール世界選手権」の会場市として県と連携し、大会を支援します。また、各種国際スポーツ大会の招致に取り組み、さいたま市を世界に発信します。	バスケットボール世界選手権開催準備	バスケットボール世界選手権開催 (18年度)  推進	「2006年FIBAバスケットボール世界選手権」の開催については、埼玉県運営支援委員会への財政的協力及び埼玉県への人的協力を進めており、埼玉県と共同で事業を進めています。ユニバーシアード等国際大会招致については、他市の国際スポーツ大会招致の沿革や経過、各種大会の競技会場使用数等を調査しました。		56 国際スポーツイベント「2006年FIBAバスケットボール世界選手権」の開催を支援します。  56 ユニバーシアード等国際大会招致のための運動を展開します。	
シティマラソンの開催	教育委員会 体育課	市民のスポーツに対する意欲・関心を促すため、全国規模のマラソン大会を開催します。	参加者 3,500人/年	4,000人/年	さいたま市・岩槻市合併記念事業として平成17年11月23日にハーフマラソンの部、3kmの部を実施しました。 出走者 3,103人 完走者 3,031人		-	

「進捗状況」欄について  
計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。  
は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、  
は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第3章 教育・分野・スポーツの分野									
第3節 生涯スポーツの振興									
事業の名称	担当課		事業の概要	現況 (H17年度当初)	H20年度未 計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備 考
さいたま・たていわ親善ツデーマーチの開催 (再掲7章1節)	教育委員会	体育課	友好都市の市民がともに村内を歩き、豊かな自然や地域文化への理解、健康・体力づくりをテーマに交流を図るツデーマーチを開催します。	参加者 163人/年	200人/年	さいたま市・岩槻市合併記念事業として平成17年10月8日・9日にわたり、館岩村において実施しました。歓迎式、解散式では郷土芸能の披露等が行われました。 参加者 163人		-	
総合型地域スポーツクラブ支援事業	政策局	スポーツ企画課	教育委員会 体育課	「一市民スポーツ」を基本理念に、多目的・多世代による地域の自主的な企画・運営を行う総合型地域スポーツクラブづくり支援します。	総合型を目指して活動しているクラブ数 9クラブ(8区)	各区 1クラブ以上	総合型地域スポーツクラブ推進委員会を3回開催し、総合型を目指すクラブ間の情報交換の場とした。また、クラブの拠点づくりとして学校体育施設開放運営委員会との協議により総合型地域スポーツクラブへの学校体育施設の利用を推進しました。 なお、さいたま市総合型地域スポーツクラブ支援要綱(平成17年7月1日)を定め、さいたま市が求めるクラブ像を具体化しました。	58	総合型地域スポーツクラブの支援を通じて、地域サッカーチームを育成します。
さいたまシティカップ開催事業(再掲7章1節)	政策局	スポーツ企画課	浦和レッズ・大宮アルディージャと世界の強豪クラブチームとの国際親善試合を定期的で開催し、多くの市民に世界の一流プレーを間近でみる機会を提供し、「サッカーのまちづくり」を国内外に発信します。	累計入場者数 109,910人	360,000人	平成17年6月15日第3回さいたまシティカップを浦和レッズ対FCバルセロナ(スペイン)の対戦で開催し、会場となった埼玉スタジアムにさいたま市民をはじめとする57,143人の観客を集めました。 累計入場者数167,053人	55	さいたまシティカップを開催します。	
サッカーのまちづくり推進事業	政策局	スポーツ企画課	サッカーのまちづくり推進協会による高校サッカー選手団海外派遣や浦和レッズ、大宮アルディージャへの支援などを行い、サッカーを核とした市民スポーツの振興、地域の活性化を推進します。	市内の施設でサッカーに親しんだ(競技、観戦した)人々の数 1,293,000人/年	1,500,000人/年	サッカーのまちづくり推進協会による高校サッカー選手団海外派遣や浦和レッズ、大宮アルディージャへの支援などを行いました。 市内の施設でサッカーに親しんだ人々の数 1,394,000人		-	

「進捗状況」欄について  
計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。  
は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、  
は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。



第3章 教育・分野・スポーツの分野									
第4節 さいたま文化の創造									
事業の名称	担当課		現況(H17年度当初)	現況(H17年度当初)	H20年度末計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
盆栽文化の振興・活用(再掲5章2節)	政策局 総合政策担当 市民局 文化振興課	環境経済局 観光政策室	盆栽文化振興・活用基本構想に基づき、盆栽関連施設を整備し、施設を核とした盆栽文化ネットワークを構築します。また盆栽村の積極的なPRを行い盆栽文化を振興します。	盆栽村来訪者 20万人/年	40万人/年	盆栽文化振興・活用基本構想に基づき、関係団体と協議しながら盆栽関連施設等基本計画の策定を進めました。 また、観光振興ビジョンの策定にあたり、観光関係者からなるワーキンググループを立ち上げ、本市の観光・コンベンションの実態と課題を明らかにする基礎調査を行いました。 平成17年度の盆栽村来訪者 21万人		79 さいたま市の地域資源であり、世界にも誇れる盆栽文化の振興・活用を図ります。	
氷川参道の整備(再掲4章1節)	都市局 大宮駅周辺計画管理課		都心における緑や歩行者のネットワークを形成するため、氷川参道(大宮中央通線以南)をうるおいのある歩行者空間として整備します。また、地元まちづくり組織等とのパートナーシップにより緑の保全を図りつつ沿道等のまちづくりを進めます。	氷川参道(大宮中央通線以南)における歩行者空間の確保率 41.6%	100%	(仮)一の鳥居ひろば整備事業用地を取得しました。 また、地域住民や関係機関との協議等を踏まえ、南区間の歩車分離整備基本計画を作成しました。 まちづくり活動としては、氷川参道の樹木と将来像をテーマにまちづくりシンポジウムを開催し、併せて氷川参道の樹木冊子を発行しました。		71 大宮駅東口再生プランを実現するため、パートナーシップによる新たなまちづくりに取り組みます。	
見沼通船堀公園整備事業	都市局 公園みどり課		国指定史跡の見沼通船堀と周辺の斜面林を取り込み、見沼田圃の環境に調和した、歴史と自然に触れ合える総合公園を整備します。	事業中	事業中	事業用地(約5,300㎡)の取得を行いました		-	
鉄道博物館の整備促進(再掲5章2節)	市民局 文化振興課		東日本鉄道文化財団による鉄道博物館の整備に伴い、本市の地域資源である鉄道文化を生かした魅力あるまちづくりを促進します。	促進	完成(19年度)	平成17年11月に鉄道博物館の起工式が行われるなど、事業は順調に推移しました。		82 鉄道博物館の整備を促進します。	
スポーツ文学賞事業	市民局 文化振興課		スポーツと芸術文化活動が盛んな本市のアピールのため、全国からスポーツをテーマとした文芸作品を募集し、作品集「SPORTS STORIES」を刊行します。	推進	推進	第3回スポーツ文学賞に、より広くより多くの方の参加をめざし、スポーツエッセイ賞を創設しました。平成17年7月～18年3月1日までの期間に募集し、スポーツ文学賞135編、エッセイ賞192編の計327編の応募がありました。		-	

「進捗状況」欄について  
 計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。  
 は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、  
 は、順調に進捗。 は、進捗に遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。

第3章 教育・分野・スポーツの分野								
第4節 さいたま文化の創造								
事業の名称	担当課	現況(H17年度当初)	現況(H17年度当初)	H20年度未計画目標	H17年度実績及び実施内容	進捗状況	マニフェスト工程表	備考
漫画・ユーモア文化の振興事業	市民局文化振興課	地域の特色ある文化資源である漫画の重要な要素としてのユーモアをもとに、心の豊かさを実感できる場や機会を提供するため、国際漫画フェスティバルやユーモアフォトコンテストなどの事業を積極的に展開し、新たな都市文化の創造を目指します。また、(仮)ユーモアセンターをプラザノースに整備し、漫画・ユーモア文化の展開・情報発信を行います。	推進	推進	国際漫画フェスティバル・ユーモアフォトコンテスト・アジア漫画展を開催し、国際漫画フェスティバル参加作品から、(仮)ユーモアセンターの資源とするための作品を21点購入しました。		-	
(仮)岩槻人形会館整備事業(再掲5章2節)	市民局文化振興課	さいたま市の伝統文化のひとつである人形文化を広く内外に発信し、生きた文化として継承するため、地域の魅力とにぎわいを高める拠点ともなる(仮)岩槻人形会館を整備します。	構想・検討	完成	(仮)岩槻人形会館整備基本構想・計画の策定を進めましたが、候補地選定に時間を要し、策定に遅れが生じました。今後は、基本構想・計画の早期策定のため、用地の選定に全力を尽くすとともに、庁内検討会議及び懇話会を設置し、整備方法を検討します。		平成20年度を目標に岩槻人形会館を建設します。 81	
歴史的資源の保存・整備事業	教育委員会文化財保護課	貴重な文化遺産である文化財を次世代へ継承するとともにその活用を図るため、国指定史跡真福寺貝塚や県指定史跡岩槻藩遷喬館などの文化財の保存整備を進めます。	推進	推進	県指定史跡岩槻藩遷喬館復元工事等として、建物の復元工事を実施し、完了しました。		-	

「進捗状況」欄について

計画目標達成に向けた事業の進捗状況を記載。

は、計画目標を達成(イベントなどの単年度ごとの計画目標値の事業を含む。)、

は、順調に進捗。 は、進捗が遅れ。

網掛け部分については、実施計画[改訂版]及び理想都市実現に向けた行動計画～マニフェスト工程表～の内容です。